

牧師所感：人生最期の願望

何故か自分でも分かりかねるが、ふと自分の人生は短命で終るのではないかという気がした。俗に言う短命で終る運命かも知れないと思った。筆者はキリスト者である。キリスト者である自分が、神様を信じながら、運命論に追従するとは、誠に不謹慎で、大罪を犯していると思った。しからば全能の神は、浅はかな人間の考えに左右される神ではない、と明確に信じる信仰を取り戻した。そして心からの懺悔のお祈りをして、赦しをこいねが希ひった。そして祈った。神よ、もし私を赦して下さるなら、70歳まで生かして下さい、と祈った。そして長く生きることに執着しなかった。これで私の人生の一コマが過ぎ去った。

さて、私の命を70どころか、92歳まで生かして下さった。ならば私は死ぬまで、私が願って来た最後の仕事を希望通り、神に捧げて生きる者となろう、と決意した。それは神に讃美の歌を捧げる使命に生きることである。歳を取っていても、讃美をお捧げは出来る。大学2年生の時（韓国音大生）、アメリカからピアソン博士と、歌手として、ジミー・マクドナルド氏を招いて講演会を開いた。ワールドビジョンの創設者のピアソン博士の講演は、私達学生に大いなる感銘を与えて下さった。特に私を奮い立たせてくれたのは、ジミー・マクドナルド氏の歌であった。何千人という聴衆の私達に、深い感銘を与えてくれたその讃美歌は生涯において忘れる事はない。幸いに小生も方々の教会に招かれて歌（讃美歌、オラトリオ等）を歌つて來た。ところが老齢になつたので、昔のような声量はないが、独唱者として招かれたい。

さて、召される時まで、アメリカ在住のキム・ホーソン宣教師との約束を果たしたい。それはキャラバンBusでアメリカ本土と、北米、南米を廻って伝道するという約束である。その時が来るまで歌の練習を怠ることはない。読者諸賢のお祈りと声援を請い願う。主に在って、アーメン！